

仕様書

1. 件名

オープンイノベーションラボ Eeg Studio にかかるシールドルーム設置委託業務について

2. 委託業務の目的

本業務は、横浜市立大学オープンイノベーションラボ棟3階の Eeg Studio にかかるシールドルームの設置を委託するものである。

Eeg Studio は、脳波計とシールドルームを整備した環境を核に、主としてメンタルヘルスケアに資する革新的な研究開発と実証を加速するための研究開発環境である。なお本業務は、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）（※）」事業が目指す「健康・ウェルビーイングを支える研究・実装の推進」に資する研究・教育・産学連携の場を提供することが目的である。

具体的には、以下の目的を達成することを目指す。

■脳神経科学分野における研究の深化および新たな知見創出のための環境整備

- ・脳波計は、各種精神疾患、てんかん、脳腫瘍、頭部外傷、脳血管障害等の脳神経領域を対象とした研究において、脳波を中心とする生体情報を系統的に記録・収集する
- ・また病気ではないがメンタルヘルスに課題を抱える被験者に対しても、脳内の状態把握に活用する。
- ・Eeg Studio における研究利用を通じて、臨床現場由来の高品質なデータ蓄積と解析を可能とする

(※) 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して行う事業です。地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援することにより、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としています。

（横浜市立大学の提案概要は別紙1のとおり）

3. 委託業務の内容

受託者は、以下の業内容を横浜市立大学と緊密に連携しながら遂行すること。

Eeg Studioにおけるシールドルームの設置業務

シールドルームの仕様・詳細については下記のとおり。

■ハイブリット式シールドルーム1・2整備

〈特性〉

- ・シールドルーム壁部は密閉パネル、天井部は通気性の良いメッシュパネルにて構成されていること
- ・シールド性能は、500kHz～500MHzにおいて40dBの減衰性能を保持していること

〈本体〉

- ・壁部の密閉パネルは、2層のシールド層を有すること
- ・シールドルーム1は、W2,500×D2,800×H2,300の外寸であること
- ・シールドルーム2は、W1,500×D1,900×H2,300の外寸であること
- ・天井部のメッシュパネル部には、既存天井設備へアクセスできるように点検口を有すること
- ・点検口は誰でも容易に開閉できる構造であること
- ・扉サイズは、W900×H1,900以上であること
- ・扉下部の沓摺部はスロープ形状をしており、車いすなどでの出入りが容易であること
- ・脳波計用の貫通管を有すること

〈仕上げ〉

- ・シールドルーム壁部は、室内外ともにビニルクロスシート仕上げであること
- ・シールドルーム室内床は、タイルカーペット仕上げであること

〈電気〉

- ・シールドルーム1は、100V20A×2回路の電気回路を有すること
- ・シールドルーム2は、100V20A×1回路の電気回路を有すること
- ・電気回路は各回路ともにブレーカー、絶縁トランス、ラインフィルターを有すること
- ・コンセント器具を室内、室外に有すること
- ・アースターミナル器具を室内、室外に有すること

〈保障〉

- ・納入日より1年間、無償保証期間を設けること
(扉部のガスケット、天災等の不可抗力による破損や故障、取り扱いの誤操作による破損や故障は除く)

〈その他留意事項〉

- ・別紙2の図面プランAで、本学職員と協議し整備すること
- ・脳波計と接続しシールドルームの評価を行うこと、脳波計メーカー側に発生する調

査・調整費用も含むこと

- ・ノイズ対策がされていること
- ・コンセント(電気1次側回路(アース含む)は除く)、LAN、火報移設、壁撤去、空調工事は除く
- ・設置機器の要する電源工事について別途とする
- ・一次側電源接続作業は発注後、協議の上決定する

4. 体制

本業務を受託する者は、次の要件を満たすこと。

- (1) 業務遂行に必要な受託責任者を配置できること
受託責任者は、次の条件を満たすこと
 - ・Eeg Studioの構築に必要な技術的知見を有すること
 - ・契約期間中、業務全般を統括し、委託者との連絡調整を行うこと
- (2) 安全管理責任者を配置し、施工計画書を受託後、速やかに提出すること
- (3) 横浜市立大学との連絡調整を円滑に行える体制を整備していること

5. 企業要件

本業務を受託する者は、次の要件を満たすこと。

- (1) 先端の実験環境の設計・構築に関する業務経験およびノウハウを有すること
- (2) 脳波計用シールドルームの導入実績を有すること

6. 納品物

以下の成果物を作成・納品すること。作成にあたっては、横浜市立大学および指導・助言者と十分に協議すること。

- ・シールドルーム1、2納入・設置
- ・施行計画書(発注から納入期限までのスケジュールがわかるもの)
- ・納品完了書(内訳が記載されているもの)

7. 履行期間

契約締結日～令和8年8月31日

8. 納入期限

令和8年8月31日までに委託内容に関して、業務に関する成果物の納品を完了する。

9. 納品場所

横浜市立大学 オープンイノベーションラボ (Eeg Studio) 3階
〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

10. 守秘義務

受託者は、本委託業務の実施で知り得た非公開の情報を如何なる者にも漏洩してはならない。受託者は、本委託業務に係わる情報を他の情報と明確に区別して、善良な管理者の注意をもって管理し、本委託業務以外に使用してはならない。

11. その他

スケジュールや事業内容等に一定の変更が生じた場合は、横浜市立大学と協議の上、対応すること。この仕様書に記載されていない事項、または本仕様書について疑義が生じた場合は、横浜市立大学と適宜協議を行うものとする。

12. 特記事項

- ・ 契約後の追加費用は認められない。

なお、下記の費用などを含む不確定費用についても想定額として計上し、別途請求のないようにすること。

- ・ パススルー経費（ミーティングにかかる費用、交通費等）
- ・ 印刷費等の物品費
- ・ 各種文書作成経費（会議資料、報告書、計画書、証明書等）